

「令和7年度 不燃化シンポジウム」開催報告

今年は阪神・淡路大震災から30年、「防災都市づくり推進計画」策定からも30年の節目となるタイミングであり、この機に不燃化の取組を促進していくための機運を醸成することを目的として、令和7年11月11日（火）都民ホールにおいて、「不燃化シンポジウム」を開催しました。

なお、当日のシンポジウムには、都立蔵前工科高校建築科（1年生）の生徒をはじめ、188人の方々ご参加いただきました。

【プログラム】

- 1 開会挨拶
三宮 隆／都市整備局 理事
- 2 表彰式
- 3 基調講演
中林 一樹／東京都立大学・首都大学東京 名誉教授
- 4 パネルディスカッション
- 5 閉会

1 開会挨拶 三宮 隆／都市整備局 理事



会場の様子



三宮理事

2 表彰式

長年にわたり市街地の不燃化など、防災都市づくりに資する優れた取組を行ってきた【まちづくり協議会】を対象に表彰を行いました。

受賞団体

（品川区）

戸越公園駅周辺まちづくり協議会

（豊島区）

雑司が谷・南池袋まちづくりの会

東池袋補助第81号線沿道まちづくり協議会

（荒川区）

荒川二・四・七防災まちづくりの会

（墨田区）

京島地区まちづくり協議会



受賞された皆様

3 基調講演 「東京の防災都市づくりの成果と課題」

中林 一樹／東京都立大学・首都大学東京 名誉教授

中林一樹先生より、「東京の防災都市づくりの成果と課題」をテーマに基調講演をいただきました。

◆基調講演の概要

1 東京都の地震対策の契機

東京都の防災都市づくりは、新潟地震や阪神・淡路大震災など過去の大地震を契機に、継続的に進められてきた。

2 東京都の防災都市づくりの展開

特に木造住宅密集地域の安全性向上や火災対策、避難場所・避難ルートの整備、地域防災計画の策定などが重点的に取り組まれている。地域ごとの地震危険度を評価し、危険度の高い地域を優先的に防災まちづくりの対象とする戦略も採用されている。

建物の耐震化や事前復興計画も進められ、災害発生前から復興目標や方針を定めることで、迅速な復興を目指している。

3 今後の防災都市づくり

今後も都民の協力と継続的なまちづくりが、災害に強い都市の実現に不可欠である。



中林一樹先生

4 パネルディスカッション

中林一樹先生にコーディネーターを務めていただき、UR都市機構の大野課長を加え、受賞団体の取組事例を基に、パネルディスカッションを行いました。

◆コーディネーター

中林 一樹 氏 東京都立大学・首都大学東京 名誉教授

◆パネリスト

高村 幸弘 氏	戸越公園駅周辺まちづくり協議会	会長
越智 克己 氏	〃	会長代行
坂本 一郎 氏	雑司が谷・南池袋まちづくりの会	会長
金田 博 氏	荒川二・四・七防災まちづくりの会	会長
大野 新五 氏	UR都市機構 東日本再生本部 密集市街地整備部	部付



パネルディスカッション全体の様子

最後に、事務局から来年1月に開催予定の「都市の事前復興シンポジウム」の紹介と参加を呼びかけ、シンポジウムは終了となりました。